

スマートベンチレータ Vivo 50 / スマートベンチレータ Vivo 60 の付属品 CO₂ センサ本体

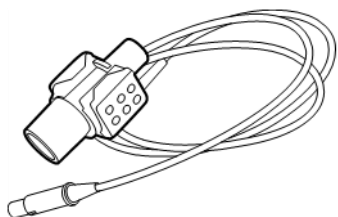
*【禁忌・禁止】

<併用医療機器>

- ・次の装置とは併用しないこと。
高気圧酸素治療室内での使用【爆発又は火災を起こすことがある】
可燃性麻酔ガス及び高濃度酸素雰囲気下での使用【爆発又は火災を起こすことがある】
磁気共鳴診断画像装置【誤動作して正しい換気ができないことがある】

*【形状・構造及び原理等】

〔形状〕



【使用目的又は効果】

呼吸終末二酸化炭素を測定する。

【使用方法等】

装置本体の取扱説明書を参照すること。

【使用上の注意】

- ・使用前に本添付文書と装置本体の取扱説明書をよく読むこと。
- ・本品を使用する前には、部品に異常がないことを確認し、異常があった場合には使用しないこと。
- ・CO₂ゼロ調整はスタンバイモードでしか行えない。
- ・本品は、有資格者で訓練を受けた医療担当者が使用すること。
- ・CO₂ センサは、患者評価の補助としてのみ使用することを目的としている。必ず、その他の臨床兆候や症状の評価と併せて使用すること。
- ・マスクの死腔量、患者の換気量、非意図的リークなどはCO₂測定値に影響する可能性がある。
- ・使用済みの気道アダプタは、医療廃棄物に関する地域の規制に従って処分すること。
- ・測定値は携帯電話やRF通信装置の影響を受ける場合があるため、それらから離して使用すること。
- ・CO₂ センサ用アダプタを気管内チューブと呼吸管アダプタとの間に取り付けないこと（患者の分泌物でCO₂ センサ用アダプタの窓が塞がれてしまい、動作不良を起こす場合があるため）。
- ・CO₂ゼロ調整が誤っていると、ガス読み取りが正しく行われない。
- ・CO₂ センサ用アダプタ内部で結露が生じた場合は、CO₂ センサ用アダプタを交換すること。
- ・CO₂ センサ用アダプタ以外は使用しないこと。
- ・CO₂ センサのケーブルを引っ張られた状態にしないこと。
- ・分泌物や水分が窓に付着しないよう、CO₂ センサを必ず縦位置に（緑色のLEDが上を向くように）配置すること。
- ・リークポートを使用する場合は、CO₂ センサを患者インターフェースとリークポートとの間に配置すること。

- ・リークポート付患者インターフェースを使用すると、モニタしているCO₂値が影響を受ける場合がある。
- ・CO₂ センサを患者インターフェースのできるだけ近くに配置すること。ただし、HME（熱湿交換器）は患者インターフェースとCO₂ センサとの間に配置すること。
これにより、CO₂ センサ用アダプタを分泌物や水蒸気の影響から保護し、CO₂ センサ用アダプタの交換が不要になる。

【保守・点検に係る事項】

耐用期間

CO₂ センサ本体 5年（8時間/日の使用想定）〔自己認証（社内データ）による〕

〔使用者による保守点検事項〕

- ・清掃/消毒する時はどの装置も傷つけないよう注意すること。
- ・CO₂ センサ内部に液体が絶対に入らないようにすること。
- ・清掃/消毒の前にCO₂ センサ用アダプタを取り外すこと。
- ・CO₂ センサを滅菌しないこと。

<清掃/消毒>

糸くずの出ない柔らかい布をエタノールまたはイソプロピルアルコール（<70%）で湿らせて（しっかり絞った状態）、CO₂ センサの外側をきれいに拭く。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：チェスト株式会社
TEL：03-3813-7200

製造業者：Breas Medical AB
スウェーデン